

# No.13 たにかしらっ子だより

令和4年8月2日(火)  
金丸恵美子

## 性教育のはじまりは…

おっばいやVラインのことを子ども達に分かりやすく伝えるために、プライベートゾーンと説明するようになり久しいです。日本人は、奥ゆかしいので性器のことをこのように表現するのでしょうか。(学校では医学的用語を使いはっきりと教えています)

助産師さんから初めて『プライベートゾーン』の言葉を聞いた時、良い表現だと感心したのを覚えています。男女が水着を着た時に、隠れる部分がプライベートゾーンです。しかし、今では多様性の見地から、男の子であっても上半身もプライベートゾーンになりますね。残念なことです、子どもを含む男性被害の性虐待や性犯罪も、かなりの数で起こっています。

昭和の時代、子ども達が裸やパンツ1丁で園庭を走り回るのは、むしろ子どもらしいと受け取られていました。しかし、今は違います。子ども達は衣服のまま水遊びを楽しんでいます。深さ30cmあまりのじゃぶじゃぶ池に入る時も着たまます。今後、園に新しいプールが設置された場合も水着の上にシャツを着せる考えです。(紫外線から肌を守る意味もあります)

園庭の南と東側が道路に面している当園は、どのような人の目に子ども達の姿をさらすとも限りません。3.4.5歳児さんが外でシャワーを浴び、たんぼぼ組前のテラスで着替える時も外から子ども達の裸が見えないように配慮しています。そして、大切なところを守るため、真っ先に、パンツと肌着を着るように、保育者は声をかけています。

先日、0.1.2歳児の着衣の時に、どこから着せるかが話題になりました。身体の中で人の目にさらしてはいけない、早く隠さないといけないところ。『パンツとおむつを先に着せる』と意見が一致しました。赤ちゃんも人権を持つ尊ぶべき存在です。まだ、羞恥心はありません。自覚もありません。だから私達大人が守らないといけないのです。裸の状態や性器が見えるようなことを極力避けなければなりません。赤ちゃんの頃から大人に守られながら、『大切なところから』着せてもらったり『人に見せてはいけない』と教えられることは、自分を大切に、そして他人の人権や人格を尊重できるようになる人としての入口ではないでしょうか。

## 七夕に寄せて…

来る8月4日は、旧暦の七夕です。園は暦通りに先月笹飾りを立てました。この時、ひとりひとりの願い事を書いて笹竹に結んでもらいました。親子が短冊を結ぶ姿は、とても微笑ましいものでした。『きれいだね』『何って書いてある?』とやり取りを想像するだけで、温かな気持ちになりました。

下は、『おつかれさまでした』のあいさつの後歩いて帰られる親子の写真。このそっくりな二人の背中がかわいらしく毎日癒されています。



ます。親子とは、こんなにも似るものなんですね。10年もしないうちに子どもさんがお母さんを追い抜く日が来るのでしょうか。そんなことを思い浮かべながら子ども達を親御さんの元へお返しできることに私達も安堵と幸せを感じます。

この地球のあちらこちらで、戦争や紛争が起っていることが嘘のようです。家庭や園で繰り広げられる何気ない日常がいかに、尊く大切なものかを深く考えさせられた『七夕』でした。

★B5サイズのコピー用紙の在庫が大量にありましたので、お便りはしばらくの間 B5サイズでお届けします。ご了承下さい。